

令和5年度 第2回苫小牧市防犯のまちづくり懇話会
事前アンケート（質問・意見・要望事項）について

1 子どもから防犯意識を身につけるための施策

防犯の意識を身につけるための授業または、これに代わる防犯対策のためのものを警察や防犯対策のボランティアなどで行う事業があればと願う。

回 答

「苫小牧市総合防犯計画」の学校等における子どもの安全対策の中で、防犯力の育成ということで苫小牧警察署と連携して各小・中学校における防犯訓練、防犯教室を実施しているところでございます。

2 青色回転パトロール車両の個人車両の出動について

防犯対策として、青色回転パトロール車両など活躍されていますが、活動されている車両が少なく思います。ガソリン価格高騰などで個人車両を出動させるのが困難だと思います。

回 答

実施団体に対する補助につきましては、補助金などの直接的な支援は行っておりませんが、間接的な支援として、パトロールの実施を検討している町内会などには申請手続きに係る提出書類作成支援を行っているほか、活動に必要な青色回転灯や車両に掲示をするマグネットシートの資機材について貸与することを支援として行っております。市といたしましては、ガソリン代の高騰や洗車費用の費用負担などがあることは承知しているところではございますが、金額の違いはあるものの、町内会におきましては、約8割の町内会が何かしらの助成等を行っている現状もあることから、現物貸与という形の間接支援としまして防犯協会を通じて支援を継続してまいりたいと考えております。

自主防犯団体等に活動に対してのアンケートを実施したところ、金銭的な支援よりも住民同士の日頃からの関係づくりや活動の中心となる役員の若返りなどといったところの課題が意見として多かったことから、まずはこれらの部分をサポートしていけるように協力、検討していきたいと考えております。

3 防犯カメラの一般住宅等における取付け費用の補助金について

防犯カメラ等の対策により、早期事件解決されていますが、まだまだ設置されている場所が少なく思います。一般住宅等でも取付け費用の補助金を負担することで、一件でも多く設置されることにより解決件数が増えると思います。

回 答

一般住宅等に設置される防犯カメラは、家の裏や玄関前など限られた場所に設置され、侵入窃盗などを防ぐ効果が期待されます。

市では公園や通学路など、一定範囲を写すことができる公共的な場所に対して、「苫小牧市防犯カメラ設置5ヵ年実施計画」に基づき毎年防犯カメラの設置箇所を増やし、犯罪予防に配慮した公共空間の整備を進めているところでございます。

4 一人歩き、歩きスマホ等の注意喚起について

市内全域にあるバス停を利用し、防犯旗、看板、ステッカーシール等を活用した一人歩き、歩きスマホ等の注意喚起を行う。

回 答

道南バスに確認を行ったところ、停留所につきましては広告等の掲示について許可しておらず、待合所につきましても一般広告については一切の取り扱いを行っていないとのことでした。一人歩き、歩きスマホ等につきましては、引き続き各種教室、イベント等を通じ、注意喚起を図ってまいります。